

シラバスシステム引継文書 (2009-2010)

(運用メモ編)

岡山県立大学シラバス管理システム 2009 開発チーム
2008 年度休学 小宮山

最終更新日:2009 年 10 月 7 日

本文書の概要

著者の独断と偏見による、シラバスシステムの運用方法等について記述するチラシの裏である。

1 2009 年度システムの移植

1.1 alpha 上での方法

- システム一式分のデータをコピー
- value.inc 中の\$session_cookie_path を変更
- data/passwd.txt.bac を data/passwd.txt にリネーム
- 所有者と所有グループを apache に変更
- index.php の title の西暦を書き直す

2 運用

2.1 運用前

横田先生に聞かれたら予算案を決定し請求する。予算は教授会？で最終決定する模様。
今のところ例外なくそのまま通った。算出目安は前年度を参考。なお以前、情報通信工学

科のみの時には総額 8 万を 2 ~ 3 人で割っていた。

11 月から 1 月頃まで、年次要求がばらばらと横田先生や教務委員の先生から降ってくるので対応する。

また、メーリングリストの準備を行う。/home/syllabus/に設定ファイルがあり ezmlm-sub 等のコマンドを使い編集する。

2.2 運用期間開始

開始時間に、~/public_html/index.php から index.php へリダイレクトするようにしておく。

2.3 一般教員入力期間中

2617 で待機。メーリングリストに質問が着たら回答する。場合によっては質問者のところに向いて説明する。

出力される PDF が変わるような変更が発生した場合は、全ファイル再組版し入力完了していた教員に対して再度確認を要請する。

2.4 一般教員入力期間終了

~/public_html/index.php から index.php へリダイレクトを解除する。

2.5 運用期間終了

data/passwd.txt から一般教員のアカウント情報を削除。cron で root のみのファイルと入れ替えると良い。

2.6 運用後

教務委員の先生をはじめとして再度編集したいなどの要望が来るので、対応する。